

開発は平和の別名

環境の悪化に国境は関係ありません。ある国で硫黄が排出されれば、風下の別の国で酸性雨が降ります。ある国で使用されたフロンガスによるオゾン層の破壊は、地球の反対側の国で皮膚がんを引き起こす可能性があります。国連は気候変動、大気・水質汚染、生物種の絶滅、その他多くの問題を防止するために各国政府を結集させ、それによって環境の保全を助けています。1992年にリオデジャネイロで開催された**地球サミット**（国連環境開発会議）では、各国政府指導者が、持続可能な開発のための地球的計画である**アジェンダ21**を採択しました。



世界では今、約13億人の人々が絶対貧困（1日の所得が1ドル以下）の中で生活しています。これらの人々は、十分な食糧、安全な水、信頼できる医療、適切な住居、それに、基礎教育、訓練および生計を維持する機会といった、人間らしい生活に不可欠な基礎的要因にアクセスできないことがしばしばあります。万人の

ための社会経済開発が達成されるまで、恒久的な世界平和は実現できません。国連はその資源の80%以上を、この目標達成のために使っています。

戦争、飢餓あるいは自然災害に見舞われた国に対し、国連はいち早く緊急援助を提供します。こうした救援の一部は、世界食糧計画やユニセフなど、国連機関からの直接援助の形で行われます。国内インフラの整備など、長期的な開発ニーズについては、**国連開発計画(UNDP)**が調整を担当します。もう一つの国連機関である**国連難民高等弁務官事務所**は、全世界で2200万人を越える難民と国内避難民に保護と援助を提供しています。

安全な飲み水は健康な生活にとって基礎的な必要条件ですが、開発途上国の11億人以上の人々は、これを手に入れることができません。国連は1980年、できるだけ多くの人々に淡水を供給するための10ヵ年キャンペーンをスタートさせました。その結果、開発途上国の13億人の人々が、安全な飲み水を手にできるようになりました。





避難するルワンダ難民。1997年4月、8万人を越える難民が自国での内戦を逃れ、ザイール（後にコンゴ民主共和国へと改称）のキサンガニ地方に UNHCR が設置した 2ヵ所の臨時難民キャンプに住む場所を見つけることができました。